

## 2018年度東北大学附属図書館事業報告

### ■ 中期計画（第3期）

【80】本学の学術情報拠点として、本館と分館との協働の下で、基盤的学術情報の整備、学習環境のサポート、貴重図書・資料の保存・発信、業務の効率化など図書館機能の活用を進める。

### ■ 年度計画（平成30事業年度）

【80】本学の学術情報拠点として、電子ジャーナル等購入の更なる最適化、全学教育及び高度教養教育・学生支援機構等の学内関連部署と連携した学習支援の継続的实施、「青葉山コモンズ新図書館」の運営組織の確立と利用状況に適合した学習環境・研究環境の向上、医学分館・北青葉山分館の機能を向上させるための改修実現に向けた要求の支援、オープンアクセス方針の普及と学術論文の更なる公開及び貴重資料による企画展示会の開催の継続など図書館機能の活用を進める。

### ■ 実績報告（平成30事業年度）

#### (1) 学術情報整備計画の促進

「東北大学学術情報整備計画」に基づき、本学教員の研究推進に必要な電子ジャーナル・データベース等の整備を行った。各部局の教員で組織する委員会が必要不可欠なジャーナル・データベースを厳選し、契約内容を本学の需要に合わせた結果、電子ジャーナルの年間アクセス数が前年度より30万回以上増加した。同時に、全学的基盤経費及び部局負担により7億円を超える経費を確保した上で、大手海外出版社と直接価格交渉を行い、提示価格を総額1500万円引き下げること成功した。こうした取り組みにより、大型パッケージの契約も維持することができた。

#### (2) 教員及び学内関連部署と連携した学習支援の実施

附属図書館副館長を委員長とする附属図書館学習支援委員会を設置し、教員や学内関連部署との連携により、本学学生の学習支援を推進している。

全学教育科目「大学生のレポート作成入門：図書館を活用したスタディスキル」は初年次における、学術情報探索と有機的に結びついたアカデミック・ライティングスキルの習得を目標として開講し、授業評価は全項目において4.0～5.0、総合評価は全科目平均4.25を上回る4.5の高評価となった。

また、附属図書館本館・分館で講習会を90回開催し、主に学部学生を対象に図書館の利用方法や電子ジャーナル・データベース等の活用方法の説明を行い、延べ2,285名が受講した（学部学生10,881名中）。

新入生を迎えるにあたっては、図書館の利用に関する情報を盛り込んだ「図書館スターターパック」を約3,000部作成し、教育・学生支援部の協力を得て全員（留学生を含む）に配付した。

#### (3) 図書館の自主財源確保の推進

他の国立大学図書館で類を見ない事業として、図書館蔵書をモチーフにしたオリジナルグッズを販売し、約20万円の収益を得て図書館事業に活用した。

また、公益財団法人朝日新聞財団からの助成金 30 万円を得て古典資料の修復を行うことができた。

さらに、平成 31 年 3 月 1 日に東北大学特定基金「図書館のみらい基金」を設置し、年度末までの 1 か月間で約 40 万円の寄附があった。

#### (4) SNS を活用した国内外への図書館広報の活性化

本学学生を中心とした附属図書館利用者や国内外の関係機関に対して、図書館サービスや事業について周知するために、SNS を活用して広報を活性化させた。

Twitter は平成 30 年度末時点で 9,600 件ツイートしており、フォロワー数は 6,000 名を超えて国内の国公立大学図書館では 4 位 (Twitter 開設 136 館中) となった。

平成 30 年 11 月に開設した Instagram はフォロワー数が 2 か月後の 12 月末には 100 名、5 か月後の 3 月末には 200 名を超え、国内の国公立大学図書館では 3 位 (Instagram 開設 21 館中) となった。

また、大学院等の留学生を雇用し活動を行っている留学生コンシェルジュも、SNS で留学生向けに図書館を活用した学習・研究に関する情報発信に努め、外国人留学生の修学環境の整備に貢献した。Facebook は 500 名以上がフォローしており、また、図書館 (本館・分館) を紹介するプロモーションビデオを作成し、YouTube で 8,000 回以上視聴された。

#### (5) 図書系職員の人材育成・高度化

本学図書系職員及び東北地区内大学図書館の人材育成を目的とした研修会を企画し、2 回開催した。特に「東北地区西洋古典資料保存講習会」(平成 30 年 11 月 16 日、於 東北大学附属図書館) は、一橋大学社会科学古典資料センター・附属図書館との共催によるもので、東北地区大学図書館協議会加盟 63 館から 43 名が受講した。

また、本学図書系職員が「東北大学附属図書館調査研究室年報」第 6 号 (平成 31 年 3 月刊行) に 6 件、学外の雑誌に 1 件、学外のウェブサイトに 2 件、論文や記事を執筆し公表した。

さらに、本学図書系職員が国際会議で 1 件、国内の学外会議で 2 件、本学の図書館事業等に関する講演・報告を行った。

これらの取り組みにより、本学の図書館事業を国内外へ周知するだけでなく、職員の人材育成・高度化に資することができた。